

第1回企画等専門調査会(平成23年11月21日)資料  
 「<平成23年度>食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について(案)」抜粋

評価課題／危害要因	危害要因に関する概要等	国内外における評価状況、管理状況等
クロレラ	<p>・独立行政法人国立健康・栄養研究所:「健康食品」の安全性・有効性情報  <a href="http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail105lite.html">http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail105lite.html</a></p> <p>クロレラは淡水に生息する緑藻の一つで、多量の葉緑素や種々の栄養素を含む。俗に「免疫能を向上させる」、「コレステロールや糖質の吸収を抑制する」などといわれているが、ヒトでの有効性については信頼できるデータが見当たらない。</p> <p>安全性については、下痢、痙痛、ガス、吐き気、光過敏症、喘息やアナフィラキシーなどのアレルギー症状を起こすことが報告されている。</p>	<p>&lt;国内&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品安全委員会による評価状況:なし。</li> <li>・厚生労働省:「フェオホルバイド等クロロフィル分解物を含有するクロレラによる衛生上の危害防止について」(昭和56年5月8日環食第99号)によりクロレラ加工品(原末を含む)中のフェオホルバイド量及びクロレラの加工方法等について指導。</li> <li>・厚生労働省:「健康食品」の安全性・有効性データベースについて平成16(2004)年7月14日食安新発第0714001号</li> </ul> <p>「健康食品」については、国民の健康に対する関心が高まるとともに、健康と食に関する情報が氾濫するようになり、中には、過剰摂取や過度の痩身行為などの偏った食生活を導く不適正な情報あるいは非科学的な情報も増え、国民の混乱を招いているとの指摘が少なくありません。</p> <p>こうした状況を改善するため、本年6月9日にまとめられた「「健康食品」に係る今後の制度のあり方に関する検討会」の提言においても、普及啓発として「「健康食品」の有効性・安全性について中立的な情報提供を行うデータベース等を活用すべきである」とされています。</p> <p>今般、その「健康食品」の安全性・有効性データベースが独立行政法人国立健康・栄養研究所のホームページに開設されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人国立健康・栄養研究所:ホームページ「健康食品」の安全性・有効性情報  <a href="http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail105lite.html">http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail105lite.html</a></li> </ul> <p>&lt;海外&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国食品医薬品安全庁(KFDA)(2011年6月20日)  <a href="http://www.iffc.co.jp/support1/2011/06/vd.html">http://www.iffc.co.jp/support1/2011/06/vd.html</a></li> </ul> <p>業界の活性化および消費者選択の拡大を目的に、健康機能食品(韓国版トクホ)の基準および規格を一部改正する計画である、と明らかにした。主な改正内容は下記のとおり。</p> <p>①ビタミンD、クロレラ、緑茶エキスの機能性追加          クロレラ: 免疫機能の増進に役立つことがある</p>